

## インテル社最新CPUを搭載 エンタープライズ 「PRIMERGY TX150 S7/RX100 S6」 販売開始

IT投資コストが抑えられる中、小さな投資で大きな効果を得ることが求められています。その要望にお応えするため、富士通はタワー型/ラック型PCサーバ「PRIMERGY TX150 S7」とラック型PCサーバ「PRIMERGY RX100 S6」の販売を2010年1月より開始しました。

アーキテクチャーとしては、最新のインテル製CPU、Celeron® (RX100 S6のみ)/Pentium®/Core™ i3/Xeon®プロセッサの中から、用途に応じて選択が可能。最大メモリ容量32GBにより、1WAYサーバで

ありながら仮想化環境の構築等、幅広い用途に対応しました。

また、3.5インチHDD (SAS/SATA)に加え、2.5インチHDD (SAS)の構成で、SAS2.0に対応したHDDを採用。さらに、SAS2.0に対応したRAIDカードを組み合わせた6Gbit/sの転送により、高速・高性能を実現しました。

その他、サーバの状態をグラフィカルな画面で監視可能な「ServerView Operations Manager & ServerView Agents」により、CPU、メモリ、ハードディスク、ファンの稼働状況、筐体内の温度や電圧等のサーバステータスを把握し、確実なサーバ管理が行えます。

本製品は、統一したグローバル仕様の製品として、最適なIT環境の構築に貢献してまいります。

詳しくは ▶▶▶ <http://jp.fujitsu.com/about/journal/products-services/20100201-02/>

## 環境配慮型、上位機並みの信頼性を備えた エンタープライズ 「ETERNUS DX60/DX80/DX90」 ラインナップ

企業データを確実に保存するストレージに求められるのは、一層の信頼性、拡張性、災害対策と環境への配慮。これらにお応えする中堅・中小企業、大企業の部門向けエンタープライズディスクアレイが「ETERNUS DX60/DX80」、そして新モデル「ETERNUS DX90」。主な特長は次の通りです。

### さらなる環境配慮と拡張性・接続性を強化

DX60/DX80は、新たに省スペース・低消費電力の2.5インチHDDをサポート、豊富なディスクタイプにより、コスト・性能等のバランスに応じたRAID構築が可能に。DX80/DX90は、最大120本までHDDの搭載が

可能な拡張性に加え、クラス最大の8Gbpsのファイバチャネル (FC) ホストインターフェースをサポート。DX90は、8ポートを標準装備する等、接続性を強化。

### 事業継続を支援する災害対策リモートコピー機能

DX90は、リモート・アドバンスド・コピー機能 (オプション) により、サーバ経由なしでDX90間とのボリュームコピー (装置間コピー機能) が可能。さらに高機能FCスイッチを使用し、WANコンバーターなしの遠隔地データ転送が可能となり、より安価な災害時データ保全システムの構築を実現。

この他、省電力、静音性強化、電力・温度状態の見える化等の環境配慮機能、主要コンポーネントの二重化やデータの暗号化機能等、数々の特長を備えています。富士通はこれからも、より高機能・高信頼性のエンタープライズディスクアレイで中小・中堅企業のITシステムを支えてまいります。

詳しくは ▶▶▶ <http://jp.fujitsu.com/about/journal/products-services/20100201-03/>

### 富士通ジャーナルサイトもあわせてチェック!

富士通ジャーナルサイトでは、冊子でご紹介した製品の詳しい情報や、冊子ではご紹介しきれないお奨めの製品情報を毎週更新しています。ぜひご覧ください。

富士通ジャーナル プロダクト&サービス

検索

<http://jp.fujitsu.com/about/journal/products-services/>